

まちづくり目標 1

快適で暮らしやすいまちづくり

施策 8 土地利用

施策 9 住宅環境

施策 10 上下水道

施策 11 道路

施策 12 公共交通

施策 13 環境保全

施策 14 循環型社会

施策 15 都市景観

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	④都市基盤の充実
施策8	土地利用		

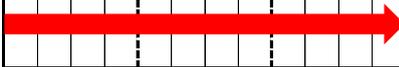
事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
08-01 王寺駅周辺地区まちづくり基本計画の策定	奈良県と王寺町とのまちづくりに関する基本協定書に基づき、王寺駅周辺地区を対象として、平成30年5月に基本構想を策定。今後その構想を踏まえ、防災上の課題の解決や利便性の向上など、目指すべきまちの姿の実現に向けて、事業内容や事業主体といった具体的な整備計画である「王寺駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定を行う。令和2年度以降は、交通政策やまちづくりの研究の有識者や交通事業者などで構成する「王寺駅周辺再整備推進会議」を組織し、専門的な意見交換を行い、引き続き県と協働で策定に向けて取り組んでいく。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組 王寺駅周辺の土地利用・高度利用			
		事業費	R1年度	22,000 千円
			R2年度	20,000 千円
08-02 王寺駅周辺地区まちづくり個別計画の策定	「まちづくり基本計画」に位置づけられた事業における、5年以内に完了または着手する具体的な取り組みについて、県と個別協定の協議を行ない個別の事業計画を策定した後、個別協定を締結する。ただし、個別協定事業を実施する前年度において、県に対して予算要求協議が必要となる。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【まちづくり推進課】	取組 王寺駅周辺の土地利用・高度利用			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
08-03 畠田駅前整備事業【ハード】	畠田駅前広場を整備し、歩道を設置することで、交通弱者である子どもや高齢者等の安全を確保する。また、送迎車用のスペースを整備することで車両の通行をスムーズにし、駅前広場の利便性を向上させるとともに、商業施設への誘導を図る(令和5年度完了予定)。更に、バスターミナルを整備するとともに、バス事業者と連携し、畠田駅を起点とした周辺観光施設へのバス路線の新設に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【都市計画課】	取組 畠田駅周辺地区の整備			
		事業費	R1年度	60,000 千円
			R2年度	105,000 千円

施策9

住宅環境

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
09-01 耐震診断支援事業 継続【まちづくり推進課】	地震時に倒壊し避難、救命、消火等の活動の妨げになる危険性が高く、大規模火災を発生させる可能性もある町内に存する木造住宅について、耐震診断を早急に普及させるため耐震診断員を派遣する。 取組 安全で良質な住宅ストックの形成	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 300 千円 R2年度 30 千円	
09-02 耐震改修支援事業【ハード】 継続【まちづくり推進課】	地震発生時における住宅の倒壊等の被害から町民の生命及び財産を守るため、町内に存する既存木造住宅の耐震改修工事及び耐震シェルターの設置工事を行う者に対して、予算の範囲内において、王寺町既存木造住宅耐震改修事業費補助金を交付する。 取組 安全で良質な住宅ストックの形成	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 3,750 千円 R2年度 3,750 千円	
09-03 老朽空き家除却補助【ハード】 継続【まちづくり推進課】	耐震性が不足している町内の老朽空き家の除却を推進し、住環境の改善、良好な景観の維持及び地域の安全安心の向上を図るため、予算の範囲内において老朽空き家の除却工事を行う所有者等に対し王寺町老朽空き家除却補助金を交付する。 取組 「王寺町空家等対策計画」に基づいた取組	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 3,000 千円 R2年度 3,000 千円	
09-04 全国版 空き家・空き地バンク 継続【まちづくり推進課】	平成30年4月より、公募によって選定された2事業者(株)LIFULL、アットホーム(株)が運営している「全国版空き家・空き地バンク」に参加し、空家等の情報を掲載。全国版バンク内においては、空き家情報に加えて物件周辺のハザード情報や地形情報、生活支援情報などの関連情報を地図上に集約し、重ねて表示できる機能が設けられおり、「不動産総合データベース」としての機能を兼ね備えている。 取組 中古住宅の流通	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
09-05 桃山住宅利活用検討事業 継続【建設課】	時代のニーズに合わせた桃山住宅の整備を行っていくために、令和元年度においては、町営住宅利活用懇話会に向けて、先進地の事例調査や法的な分析・検証の委託業務を行い、実現可能な方策を複数案作成した。その結果を基に懇話会を開催し、王寺町のニーズにあった桃山住宅のあり方を決定していく。 取組 「王寺町営桃山住宅」の利活用	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 1,500 千円 R2年度 105 千円	
09-06 大田口住宅利活用検討事業 継続【建設課】	大田口住宅については、老朽化に伴う維持管理費が増加しており、今後、大規模修繕の必要性が高く、存廃を含めた検証を行っていくために、令和元年度においては、町営住宅利活用懇話会に向けて、先進地の事例調査や法的な分析・検証の委託業務を行い、実現可能な方策を複数案作成した。令和2年度からは、その結果を基に懇話会を開催し、王寺町のニーズにあった大田口住宅のあり方を決定していく。 取組 「王寺町営大田口住宅」の管理	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 1,500 千円 R2年度 105 千円	

施策10	上下水道
-------------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費			
10-01 水道事業広域化の検討 継続【上下水道課】	令和8年度中の県内上水道事業の事業統合に向け、 県域水道一体化検討会の専門部会やワーキンググループで 広域化の実現を目指した検討・協議を行う。 取組 広域化の検討	R1年度	R2年度	R3年度	
					
		事業費	R1年度	—	千円
			R2年度	—	千円
10-02 老朽配水管の更新【ハード】 継続【上下水道課】	生活基盤施設耐震化等交付金の採択を受け、管路更新計画に基づき、耐用年数を経過した老朽配水管の更新を平成26年度からの継続事業として実施。 取組 老朽配水管の更新	R1年度	R2年度	R3年度	
					
		事業費	R1年度	108,060	千円
			R2年度	125,004	千円
10-03 下水道供用開始区域拡大の検討 継続【上下水道課】	市街化調整区域における商業施設や事業所の進出等の都市的な土地利用を見据え、地域整備部と協議しながら下水道事業認可区域の変更を検討する。 取組 下水道供用開始区域の拡大	R1年度	R2年度	R3年度	
					
		事業費	R1年度	—	千円
			R2年度	—	千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑤交通ネットワークの整備
施策11	道路		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
11-01 国道25号道路改良要望活動 継続【まちづくり推進課】	国道25号改良促進三町協議会(王寺町・斑鳩町・三郷町)による奈良県・国土交通省への要望活動。国道25号の三室交差点から本町一丁目交差点までの1.2キロメートル区間における「抜本的な渋滞対策」を要望する。 取組 国道25号の道路改良整備	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 366 千円	R2年度 369 千円
11-02 国道168号道路整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	国道168号は、奈良県における南北の主要幹線道路であるとともに、西名阪自動車道香芝インターチェンジとの結節道路でもあるため、渋滞対策や歩道整備等の機能強化が重要。そのため、本町4丁目交差点以南の4車線化及び歩道の改良整備について早期の実現を目指す。 取組 国道168号の道路改良整備	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
11-03 町内県道整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	畠田4丁目交差点からJR畠田駅への進入口となる畠田駅前交差点までを重点交渉区間と位置付け、令和5年度中の完了をめざし、奈良県と協力しながら事業の進捗を図る。 取組 町内における県道の整備促進	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
11-04 畠田駅前道路整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	歩行者の安全確保や、車両のスムーズな通行のため、畠田駅から国道168号へのアクセス道路及び畠田駅前広場を整備。(令和5年度完了予定) 取組 畠田駅前の道路環境整備	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 60,000 千円	R2年度 105,000 千円
11-05 久度大橋修繕・耐震補強事業【ハード】 継続【建設課】	安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するために、橋梁の法定点検で修繕が必要と判断された橋梁の修繕を行っていく。令和元年度・2年度において、久度大橋の修繕・耐震補強設計を行う。 取組 橋梁の維持管理	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 30,000 千円	R2年度 47,000 千円
11-06 橋梁長寿命化事業 継続【建設課】	安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するために、前回点検の平成26年から5年を経過する町内20橋の法定点検を行い、令和2年度において、橋梁長寿命化計画を策定する。以降は、その計画に基づきながら予防的な修繕を進めていく。 取組 橋梁の維持管理	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 11,512 千円	R2年度 6,237 千円

施策12

公共交通

事業名(担当課)	事業概要	実施時期・事業費		
12-01 新たなバス路線の誘致 (畠田駅発) 継続【まちづくり推進課】	「奈良県地域公共交通網形成計画」を踏まえて、畠田駅を起終点とする香芝市・上牧町等の近隣市町からの新たなバス路線や、県立馬見丘陵公園北エリア等へアクセスするための新たなバス路線について、路線バス事業者である奈良交通に働きかける。 取組 新たなバス路線の整備	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
12-02 新たなバス路線の誘致 (関空～王寺) 継続【まちづくり推進課】	聖徳太子ゆかりの里を訪れる人々の利便性を高めるため、関西国際空港から自動車約1時間という立地を生かし、直通バスの誘致をバス事業者に働きかける。 取組 関西国際空港からの直通バス路線の開設	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
12-03 将来型公共交通の研究・推進 継続【まちづくり推進課】	高齢者やマイカーを所有していない人が多く住むなど、日常生活に移動手段を必要としている地域を検証する。また、急速に進む高齢化に対応した将来型の公共交通(EV化、自動運転化、オンデマンド化)について研究する。 取組 将来型の公共交通の研究・推進	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
12-04 バリアフリー整備事業 【ハード】 継続【都市計画課】	鉄道駅を中心とした商業施設や公共施設等の既存施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの採用を見据えた改修又は建替えについて、「王寺駅周辺再整備推進会議」の中で大きな項目として協議する。 取組 鉄道利用者の安全性・利便性の向上	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑥環境への配慮
施策13	環境保全		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
13-01 クリーンキャンペーン、CCC活動、自治会への清掃活動の支援	年4回の町民運動等の美化清掃活動時にゴミ袋や清掃道具を配布し、美化運動を通じて町内の美しく豊かな自然を「自分たちのもの」として守り育てていくまちづくりに取り組む。			
継続【住民課】	取組 美化活動の推進	事業費	R1年度 13,182 千円	R2年度 13,051 千円
13-02 スポット清掃活動の推進	クリエイト・クリーン・サークル(CCC)団体の美化清掃活動時にゴミ袋や清掃道具の配布を行う。			
継続【住民課】	取組 美化活動の推進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-03 環境出前講座	小学4年生を対象に、ごみのゆくえやリサイクルの大切さを伝えるために環境出前講座を実施する。(パッカー車やダンプカーの見学も実施)			
継続【住民課】	取組 環境教育の推進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-04 受動喫煙防止条例の制定に向けた研究	平成26年7月1日施行の「王寺町路上喫煙の防止に関する条例」を改正し、平成30年1月1日より「王寺町歩きたばこ及び路上喫煙の防止に関する条例」を施行。同年度で、路上喫煙禁止地区内の喫煙所4箇所の分煙対策を講じ、受動喫煙防止対策を行った。今後、個人の飲食店などの分煙対策を講じる条例の必要性について研究する。			
継続【住民課】	取組 路上喫煙の防止	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-05 持続可能な「し尿処理施設」の運営	アクアセンターの余剰能力を有効に活用するため、し尿処理施設受託団体の拡大を検討する。			
継続【住民課】	取組 持続可能な「し尿処理施設」の運営	事業費	R1年度 48,461 千円	R2年度 47,481 千円
13-06 火葬炉の大規模改修【ハード】	平成18年供用開始後10年以上が経過し、老朽化が目立ってきた火葬炉周辺設備について、平成29年度から8年計画で順次大規模改修工事を実施する。			
継続【静香苑環境施設組合】	取組 火葬施設の維持管理	事業費	R1年度 22,680 千円	R2年度 22,000 千円
13-07 王寺町災害廃棄物処理計画策定事業	大規模災害時には、被災地において膨大な災害廃棄物が発生し、被災地域の復旧・復興に大きな障害となる。このことから、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理と、地域における災害廃棄物の仮置場を事前に定め、廃棄物に関する初期の混乱を最小限にできるよう、令和元年度で計画を策定した。			
完了【住民課】	取組 災害廃棄物の処理計画	事業費	R1年度 4,000 千円	R2年度 — 千円

施策13	環境保全
-------------	------

事業名(担当課)	事業概要	実施時期・事業費		
13-08 町内一部地域での災害時の災害廃棄物の集積場所等の検討 新規【 住民課 】	王寺町災害廃棄物処理計画を基に、町内一部地域で災害時に発生する災害廃棄物の集積場所や回収方法等を検討する。 取組 災害廃棄物の処理計画	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
13-09 鳥獣等被害の防止(罾・檻設置) 継続【 住民課 】	令和元年度よりイノシシ等による農作物への被害を防止するため、農業者等が設置する電気柵等の設置費用の1/2(上限100千円)を助成。イノシシの出没情報を基に、猟友会の協力を得ながら、はこ罾やくくり罾の設置を行う。 取組 鳥獣等被害の防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	2,067
		R2年度	1,328	千円

施策14	循環型社会
-------------	-------

事業名(担当課)	事業概要	実施時期・事業費		
14-01 「3つの切る」の実践(「ごみ減量化モデル地区事業」広報・啓発) 継続【 住民課 】	「3つの切る」(食べ切る・使い切る・水を切る)の実践を平成28年度と平成30年度に一部自治会で実施され、ごみ減量化に効果があることが実証されたことから、定期的な広報・啓発を行う。 取組 「ごみ減量化モデル地区事業」の促進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
14-02 「5R」の実践(広報・啓発)、ごみの分別数の見直し 継続【 住民課 】	「5R」の広報・啓発を毎年各家庭に配布しているごみカレンダーに掲載するとともに、食品ロスも含めた定期的な広報・啓発を行う。ごみの分別数の見直しについては、美濃園・香芝市と協議し研究する。 取組 リサイクルの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	442
		R2年度	394	千円
14-03 リサイクル率向上とごみ減量化(家庭ごみ有料化)の研究 継続【 住民課 】	・レジ袋の有料化(令和2年7月1日開始)を契機に、マイバッグを持ち歩く習慣が生まれるよう繰り返し啓発し、プラごみ削減を目指す。 ・ごみ減量化対策としてリクエスト収集の有料化を研究する。 ・家庭ごみ有料化については、リサイクルやごみ減量化に繋がるかなども含めての研究が必要。 ・シルバー人材センターでの草刈委託業務により毎年美濃園で焼却処分している約1,000tを刈草を堆肥化することでリサイクルの向上とごみ減量化が図れるが、費用対効果の研究が必要。 取組 リサイクル率向上とごみの減量化に向けた研究	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
14-04 一般廃棄物処理施設整備・運営事業【ハード】 継続【 香芝・王寺環境施設組合 】	現在稼働中の一般廃棄物処理施設の老朽化が著しいことから、環境省の循環型社会形成推進交付金事業として新たな熱回収施設及びリサイクルセンターの整備を行う。建設予定地は現有施設の敷地内であり、現有施設の運転を継続しながら、新たな一般廃棄物処理施設の整備を行う。 取組 循環型社会形成の推進を図るごみ焼却施設	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	30,240
		R2年度	2,094,120	千円

施策14	循環型社会
-------------	-------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
14-05 公用車の更新に係る電気自動車の導入検討【ハード】 継続【総務課】	老朽化した公用車のうち、その劣化度や走行距離を判断したうえで廃車すべきものがある場合は、充電器を設置する専用の駐車スペースの確保もふまえたうえで、電気自動車への更新を検討する。 取組 電気自動車の普及啓発	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
14-06 施設の太陽光発電・蓄電池の設置の促進【ハード】 継続【住民課】	公共施設の更新時に、大規模災害時の非常用電源設備としての利活用が可能かどうか検討したうえで、再生可能エネルギー発電設備(太陽光発電・蓄電池)の整備を図る。 取組 公共施設における再生可能エネルギー利用促進への取組	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑦水と緑の保全と創出
施策15	都市景観		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
15-01 景観条例制定事業 新規【都市計画課】	王寺町の優れた景観を守るとともに、美しい品格のある都市景観の形成を図り、将来の世代へ引き継いでいくため、景観条例の制定を検討する。 取組 景観条例の制定	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円